

都市再生整備計画

にほんまつえきみなみ
二本松駅南地区

ふくしま にほんまつし
福島県 二本松市

令和5年6月

| 事業名 | 確認 |
|-------------------------|----|
| 都市構造再編集中支援事業 | ■ |
| 都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金) | □ |
| 都市再生整備計画事業(防災・安全交付金) | □ |
| まちなかウォークアブル推進事業 | □ |

都市再生整備計画の目標及び計画期間

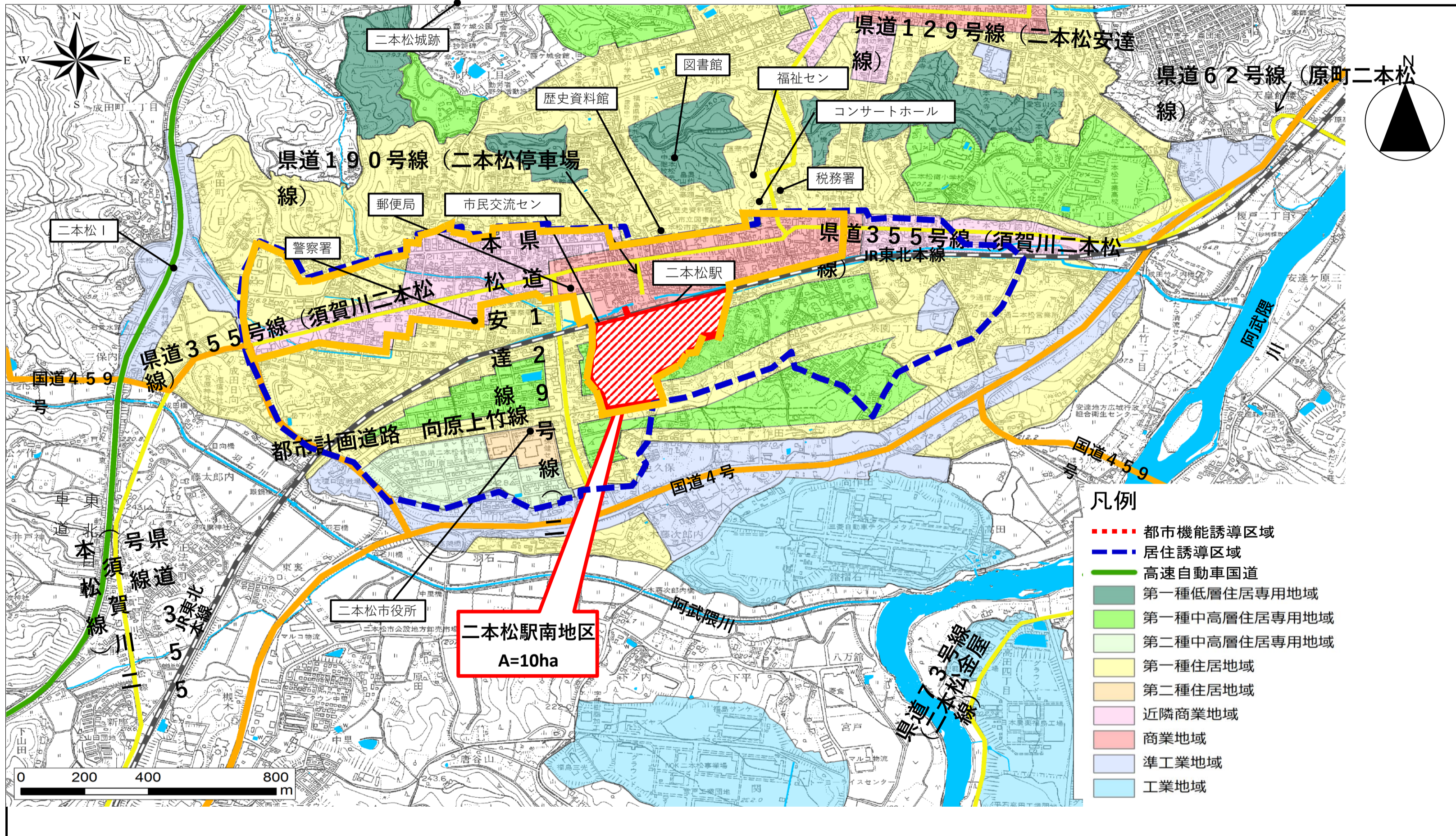
様式(1)-②

| | | | | | | | |
|-------|-------------------|------|-------------------|-----|---------|----|-------|
| 都道府県名 | 福島県 | 市町村名 | 二本松市 | 地区名 | 二本松駅南地区 | 面積 | 10 ha |
| 計画期間 | 令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 | 交付期間 | 令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 | | | | |

| |
|---|
| <p>目標</p> <p>大目標：安全・安心・快適に暮らせる、賑わいあふれるまちづくり</p> <p>目標1：駅利用の利便性の高い環境づくり</p> <p>目標2：安全・安心な住宅地の形成</p> <p>目標3：魅力的な生活環境の形成による賑わいの創設</p> |
| <p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>平成17年12月に1市3町が合併して誕生した新「二本松市」は、人口約5万8千人(H27年)を有しており、福島県中通りの福島市と郡山市の中間に位置し、安達地方の中心都市となっている。</p> <p>二本松駅に接している当該地区は、木造の住宅が密集しており、市の中心部に位置する住宅地としての魅力が少なく、また、地区内には狭隘道路が多く、建築物の更新が困難な状況にあり、日常生活のなかで環境衛生上の問題や賑わいの欠如、犯罪の誘発、災害時に避難路が塞がれてしまう危険、豪雨時の冠水の被害があるなど、周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されている。</p> |
| <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>藩政時代には、奥州二本松藩十萬七千石の城下町として栄え、二本松城(霞ヶ城)跡、福島県を代表する城下町などの多くの観光資源を有している。現在の市街地は、この城下町が原形となっており、商業・住居・公共施設等の都市機能が集積し、歴史・郷土文化等においても市の拠点となっていたが、近年では、空洞化や商業・観光地の玄関口としての魅力不足、六角川の氾濫による床下浸水対策が課題として挙げられていた。</p> <p>そこで、市は、中心市街地の賑わいの創出・活性化と併せて地域コミュニティの維持・回復はもとより、観光客とのふれあえるまちを目指し、市街地のある二本松駅北側周辺の整備として、市民交流センターや駅前広場などの公共施設の整備、六角川の治水工事などを進めてきた。一方、駅を挟んで反対側にある二本松駅南地区は、木造の住宅が密集しており、市の中心部に位置する住宅地としての魅力が欠けている。また、地区内には狭隘道路が多く、建築物の更新が困難な状況にあり、日常生活のなかで環境衛生上の問題や倒壊の危険、犯罪の誘発、災害時に避難路が塞がれてしまう危険、豪雨時の冠水の被害があるなど周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されている。さらに、住民の高齢化や公共設備の老朽化も進んでいる。住民からは、「車に対応した見通しの良い安全な道路の整備」、「防犯、防災につよい住宅地づくり(空き家の活用や撤去、狭い道路の解消など)」、「非常時に避難できる場所の整備や指定」が求められている。</p> <p>このような状況の中、市では「新二本松市総合計画」を策定し、二本松駅周辺については、にぎわいのある都市空間の創出と良好な居住環境の整備、駅利用者の利便性の向上、さらには歩行者の安全確保に努めることとしている。また、「二本松市都市計画マスタープラン」では、二本松駅南地区にて、駅前広場及びアクセス道路の整備を進めるほか、古くからの住宅市街地において、防災上の危険性が高い狭隘道路の解消に努めるとしている。</p> |
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 二本松駅南地区は、狭隘道路が多く、車での駅へのアクセスがしづらい。 二本松駅周辺は、道幅が狭いにもかかわらず車が入ってきてしまう状態のため、事故の危険性が高いことから、歩車分離の整備が求められる。住宅地内には、緊急車両の通行が困難な狭隘道路や袋小路が多いため、これらを解消し、災害や犯罪につよいまちづくりが求められる。 二本松駅南地区側は、住宅が密集し細街路が多いため、気軽に散歩したくなる環境が整っておらず、人と人との交流が生まれづらい。賑わいあふれる魅力的な二本松駅南地区の整備が必要。 中心市街地の幹線道路の一部ではバリアフリー化や歩道の整備も不十分であり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。 |
| <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に策定「新二本松市総合計画」(計画期間：平成28年～平成32年) 二本松駅周辺において「にぎわいのある都市空間の創出と良好な居住環境の整備、駅利用者の利便性の向上、歩行者の安全確保」が取り組みとして挙げられている。 平成29年10月策定「二本松市都市計画マスタープラン」(目標年次：平成40年度) 二本松駅南地区において「駅前広場及びアクセス道路の整備」「古くからの住宅市街地において、防災上の危険性が高い狭隘道路の解消」が主な取り組みとされている。 「立地適正化計画」平成31年3月31日適用 |

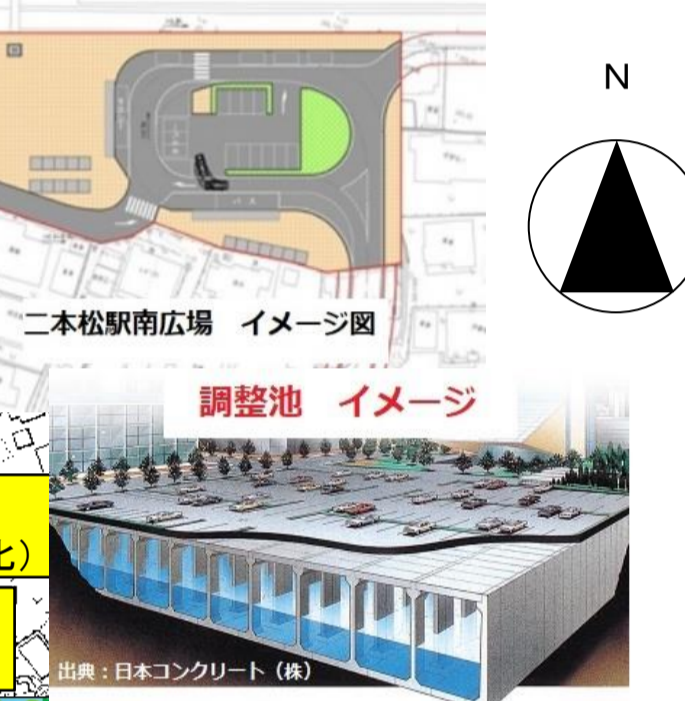
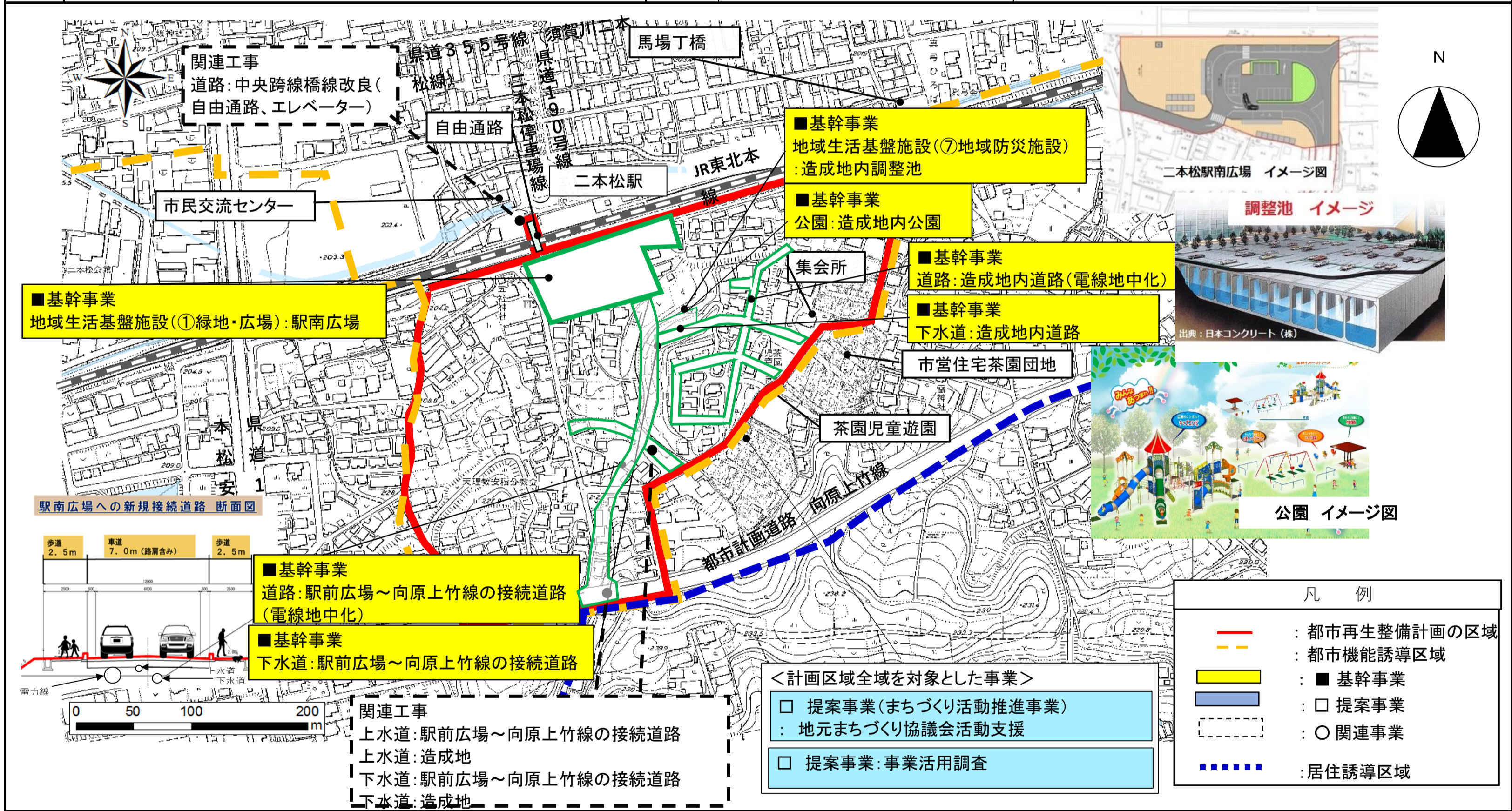
| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|--|
| <p>【駅利用の利便性の高い環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市道向原・上竹線」から二本松駅をつなぐアクセス道路が、子供や高齢者が自然と安全に駅に足を運べる導線になるよう、駅利用の増大を図る。 ・二本松の顔となる、利便性が高い駅前広場の整備。 ・ニーズに応じた駐車場の整備。 ・駅前空間のバリアフリー化。 ・道路拡幅・歩道設置をすることによって、車と歩行での駅へもアクセスが向上させる。 | <p>■基幹事業 道路：二本松駅～向原上竹線のアクセス道路 道路：造成地内道路 地域生活基盤施設①緑地・広場：駅南広場 □提案事業 まちづくり活動推進事業：地元まちづくり協議会活動支援 事業活用調査</p> |
| <p>【安全・安心な住宅地の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離の整備による歩行者の安全確保。 ・狭隘道路の解消により、火事などの災害防止や犯罪のリスクを改善する。 ・床下浸水対策にむけた治水施設の整備による災害対策。 | <p>■基幹事業 道路：二本松駅～向原上竹線のアクセス道路 道路：造成地内道路 下水道：二本松駅～向原上竹線のアクセス道路 下水道：造成地内道路 地域生活基盤施設⑦地域防災施設：造成地内調整池 □提案事業 まちづくり活動推進事業：地元まちづくり協議会活動支援 事業活用調査</p> |
| <p>【魅力的な生活環境の形成による賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者動線の確保された安全な道路の整備 ・駅前広場における気軽に集える空間の確保 ・駅前の景観や周辺の住環境の改善 | <p>■基幹事業 道路：二本松駅～向原上竹線のアクセス道路 地域生活基盤施設①緑地・広場：駅南広場 公園：造成地内公園 □提案事業 まちづくり活動推進事業：地元まちづくり協議会活動支援 事業活用調査</p> |
| <p>その他</p> | |
| <p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、地区内には、「駅南・下成田まちづくり協議会」の団体により、「道路緑化」「花壇定植管理」等の地域にあった事業を行ない、にぎわいの創出に努力している。 <p>【都市防災のあり方の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の激甚化する自然災害に対応するため、都市防災のあり方を検討調査し、「二本松市立地適正化計画(平成31年3月公表)」に防災指針を追加する。 | |

| | | | | |
|------------------|----|-------|----|---------------------|
| 二本松駅南地区(福島県二本松市) | 面積 | 10 ha | 区域 | 二本松市茶園一丁目、市海道、金色の一部 |
|------------------|----|-------|----|---------------------|



二本松駅南地区(福島県二本松市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

| | | | | | | | | |
|-----------|---------------------------------|---------------|--------------|-----|--------|----------|--------|--------|
| 目標 | 大目標: 安全・安心・快適に暮らせる、賑わいあふれるまちづくり | 代表的な指標 | 二本松駅南地区の利用状況 | % | 28.40% | (R1年度) → | 39.80% | (R6年度) |
| | 目標1: 駅利用の利便性の高い環境づくり | | 安全性に対する満足度 | % | 41.20% | (R1年度) → | 54.20% | (R6年度) |
| | 目標2: 安全・安心な住宅地の形成 | | 二本松駅南地区イベント数 | 回/年 | 0回/年 | (R1年度) → | 3回/年 | (R6年度) |
| | 目標3: 魅力的な生活環境の形成による賑わいの創設 | | | | | | | |



■ 基幹事業
地域生活基盤施設(①緑地・広場): 駅南広場

■ 基幹事業
地域生活基盤施設(⑦地域防災施設): 造成地内調整池

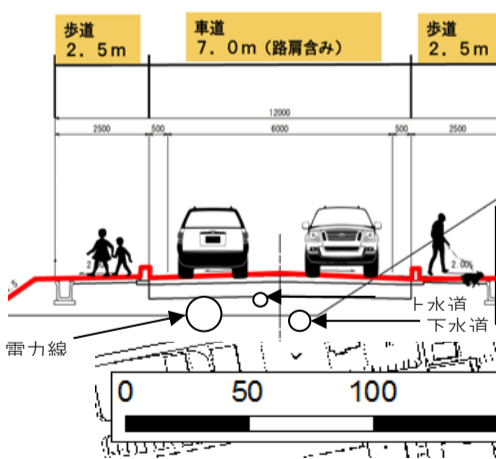
■ 基幹事業
公園: 造成地内公園

■ 基幹事業
道路: 造成地内道路(電線地中化)

■ 基幹事業
下水道: 造成地内道路

■ 基幹事業
道路: 駅前広場～向原上竹線の接続道路(電線地中化)

■ 基幹事業
下水道: 駅前広場～向原上竹線の接続道路



関連工事
上水道: 駅前広場～向原上竹線の接続道路
上水道: 造成地
下水道: 駅前広場～向原上竹線の接続道路
下水道: 造成地

- <計画区域全域を対象とした事業>
- 提案事業(まちづくり活動推進事業)
: 地元まちづくり協議会活動支援
 - 提案事業: 事業活用調査

| 凡 例 | |
|----------------------------|---------------|
| — (Red line) | : 都市再生整備計画の区域 |
| - - - (Yellow dashed line) | : 都市機能誘導区域 |
| ■ (Yellow square) | : ■ 基幹事業 |
| □ (Blue square) | : □ 提案事業 |
| ○ (Dashed circle) | : ○ 関連事業 |
| - - - (Blue dashed line) | : 居住誘導区域 |

都市構造再編集集中支援事業事前評価シート

計画の名称: 二本松駅南地区 事業主体名: 二本松市

チェック欄

| I. 目標の妥当性 | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ①都市再生基本方針との適合等 | |
| 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) 上位計画等と整合性が確保されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ②地域の課題への対応 | |
| 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い | <input checked="" type="checkbox"/> |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③目標と事業内容の整合性等 | |
| 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ④事業の効果 | |
| 1) 十分な事業効果が確認されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤地元の熱意 | |
| 1) まちづくりに向けた機運がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ⑥円滑な事業執行の環境 | |
| 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |